



## DNW-18005 の概要

課題番号 : DNW-18005

課題名 : 新規の Nrf2 活性化メカニズムに着目した扁平上皮がん治療薬の探索

主任研究者 (Principal Investigator) :

鈴木 裕之 (国立大学法人筑波大学医学医療系)

課題番号 DNW-18005 では、蛋白質 X を標的として、新たな扁平上皮がん治療薬の創出に取り組んでいる。

- 創薬コンセプト :

Nrf2 の活性化はがんの進展に関与するとされ、がんで選択的あるいは特異的に Nrf2 を活性化するメカニズムは創薬標的として注目されている。扁平上皮がんにおいて発現している蛋白質 X が Nrf2 を活性化する新たなメカニズムを見出し、そのメカニズムに基づく薬剤の創製を目指す。

- ターゲットプロダクトプロファイル :

既存薬物治療が奏功しない標的蛋白質 X を発現する扁平上皮がんに対して、Nrf2 活性の抑制により単剤または既存薬との併用によって抗腫瘍効果を示す分子標的薬。

- 創薬コンセプトの妥当性を支持するエビデンス :

標的蛋白質 X のノックダウンにより腫瘍増殖が抑制されること、また、蛋白質 X は EGF-Ras 経路によりリン酸化され、Ras による腫瘍形成に重要であることを見出した。

- 最終目標 :

産学協働スクリーニングコンソーシアム (DISC) のライブラリーからリード候補あるいはリード化合物を取得する。

本資料は、創薬総合支援事業 (創薬ブースター) による支援の終了時の情報をもとに作成しています。